

令和9年度予算概算要求額 7,856百万円（前年度 1,514百万円）

＜対策のポイント＞

新たな食料・農業・農村基本計画においては、農業者の急速な減少や高齢化が見込まれる中、人・農地等の資源をフル活用した食料自給力の確保を位置付けたところであり、米については、生産コストの低減等による生産性の向上、種子の安定供給、輸出や米粉等の需要拡大に係るKPIを設定しています。この実現に向け、用途ごとの米に関する生産から消費までのそれぞれの取組を総合的に支援します。

＜事業目標＞

- 米の生産コストの低減（15ha以上の経営体：11,350円/60kg〔令和5年度〕→9,500円/60kg〔令和12年度まで〕）
- 稲、麦、大豆の国産種子需要に対する供給率（100%〔令和12年度まで〕）
- 米・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出货量（35.3万t（原料米換算）〔令和12年度まで〕）等

＜事業の内容＞

1. 米穀等生産力強化促進事業

1,496百万円（前年度714百万円）

① 種子生産基盤強化総合対策

高温耐性や多収性などの多様なニーズに対応した品種転換に必要な**種子の生産・供給体制の構築**や種子供給体制の維持に向け**新たな生産者の確保、面積拡大の取組等**を支援します。

② 生産力強化に向けた稲作経営モデル確立支援事業

稲作の大幅なコスト削減に向けた**地域全体で取り組む経営分析**や**革新的な技術の検証等**や、労働力不足への対応策となる**直播の導入**を支援します。



3. 米穀等需要開拓事業

3,180百万円（前年度220百万円）

① 米需要創造価値推進事業

米の消費量減少に歯止めをかけるため、米の付加価値への理解に繋がる、年代ごとの食生活や意識変化に対応した情報発信等の取組を支援します。

また、喫食シーンに合わせた消費拡大に向けた戦略を策定します



② 米・米加工品輸出拡大総合対策事業

米・米加工品・米粉の更なる輸出拡大に向け、海外需要開拓・商流構築等に向けた取組、輸出拠点の供給力強化に向けた施設整備等を支援します。

2. 米穀流通円滑化促進事業

330百万円（前年度30百万円）

① 米穀流通情報整備事業

非主食用米を含む用途別の米の需給見通しへの移行に向け、米穀の流通状況を的確に把握するための情報収集・分析手法の整備を行います。

② 米流通効率化支援事業

流通構造の合理化・効率化等に向け、**流通等の共同化や産地との長期契約に基づく直接取引等の取組**を支援します。

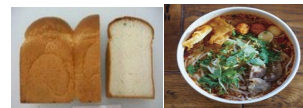
4. 米穀需給安定対策事業

2,850百万円（前年度額550百万円）

① 米粉需要創出・利用促進事業

国産米粉の特徴を活かした**新商品の開発**、米粉の利用拡大に向けた**情報発信**、**ノングルテン認証等の取得**、**学校給食への利用促進**、**製粉・食品製造事業者の規模拡大の取組等**を支援します。

また、米粉用米の安定供給に向けた**原料米の複数年契約の取組**を支援します。



② 米穀需給変化対応事業

米の需給変化に即応し、加工用米・新市場開拓用米等の安定供給を実現するため、流通事業者が策定する需給安定計画に基づき、**各段階の関係者が連携しながら、供給力を強化するために必要な取組**を支援します。



「お問い合わせ先」 農産局穀物課

(03-3502-5959)